

# 平成27年度学力向上を図るための全体計画

(奥多摩町立水川小学校)

- 憲法・教育基本法等関係法規
- 東京都 教育目標
- 奥多摩町 教育目標

## 学校教育目標

- 「のびのびと逞しく生きる子」の育成
- 自ら進んで学ぶ子
  - 仲良くやさしい子
  - 健康で明るい子
- 「生きる力」の育成
- ・学ぶ力・豊かな心・健やかな心身の向上

- 時代の要請
- 学校・地域の実態
- 地域・保護者の願い
- 児童の願い
- 教師の願い

## 学校経営方針（学力向上に関わる要点）

- 進んで学ぶ態度を育てる（興味・関心を高める教材や学習環境、問題解決・探求型学習・深め合う学習の工夫）
- 基礎・基本を身につける（発達段階・習熟度に応じた目標・内容、習熟時間の確保、習熟指導法の工夫、学習習慣）
- 考える力を高める（分類・比較・関連や構想・論理力の育成、振り返りの習慣、言語活動）

## 各教科の指導の重点

- 基礎・基本の定着と問題解決的な学習過程の重視
- 一人で学ぶ力と共に学ぶ力の育成
- コミュニケーション能力・表現力を高める指導の工夫
- 地域教育資源の活用
- 体験的活動の重視

## 総合的な学習の重点

- 自分の興味・関心を調べたり探究したりする力の育成
- 教科横断的・総合的な学習や創意工夫ある活動の実施
- 奥多摩の人・自然・文化に関わる学習の重視
- 体験を重視した課題解決学習の推進
- 国際理解など、本校の実態に応じた活動の充実

## 外国語指導の重点

- ALT 講師との活動を通して、積極的に外国語を聞いたり話したりする。
- 簡単な挨拶や自己紹介を通してコミュニケーションを図る。

## 進路指導の重点

- 中学校との連携の充実
- 様々な大人とのふれ合いや体験活動をもとに、自分の生き方を考え、深める。

## 本校における「確かな学力」

～自ら進んで学ぶ子～

## 未来に向い共に生きる力、課題に挑戦し解決する力

学習指導要領に示された内容の確実な定着

- 問題解決力・思考力（読み、聞き、考え、判断し、表現する力）
- 基本的な知識・理解（基礎的知識・技能、学習内容の定着）

## 学習意欲、主体的探究姿勢

- ◇基本的な生活習慣、学習習慣 ◇学び方
- ◇語彙、言葉活用力 ◇豊かな生活体験 ◇豊かな心
- ◇健やかな体 ◇安心できる人とのかかわり

## 道徳教育の指導の重点

- 様々な体験活動を通して、豊かで逞しい心、道徳的判断力、実践意欲、態度を育てる。
- 様々な人々との関わりを通して、規範意識を確立し、共に生きる力を育てる。
- 道徳授業地区公開講座を通して、教育力を高める。
- 自然や動植物を大切にする態度を養う。

## 学校経営方針（授業改善推進上の要点）

- 「考える、わかる、できる」学習体験の保障
- 教材研究に裏付けられた授業の推進
- 児童の変容に応じた指導方法の工夫・改善
- 認知特性に応じた多様な学習方法
- 問題解決学習・探究学習
  - ・本時の目標の明示
  - ・学習過程の見通しをもたせる工夫
  - ・既習事項の活用
  - ・自力解決過程の設定と支援の工夫
  - ・児童の自己評価過程の重視（シート、作文）
  - ・振り返り・修正で考えを深め・活用する「学び合い」
- 基礎的・基本的知識・技能の習熟
  - ・発達段階と習熟度に応じた、個々の適切な目標設定、教材の工夫
  - ・家庭学習等多様な習熟の場の活用
  - ・習熟度別学級編成、T・T、教育支援員の活用、学校内外のスタッフの協働による多様な指導形態

## 特別活動の指導の重点

- 自発的・自主的活動を創り出す態度・能力の育成
- 異年齢集団活動を通して豊かな人間関係の育成と、集団への所属感の深化

## 生活指導の重点

- 人権と個性を尊重し、相手を思いやり、人と豊かに関わる心の育成
- 自分らしさをもち、たくましく生活する力の育成
- 基本的生活習慣及び社会的規範意識の確立
- 家庭・地域・関係諸機関と連携した健全育成

## 本校の授業改善に向けた視点 ◎は重点項目

指導内容・指導方法の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	校内における研究・研修の工夫
◎読解力の向上（課題解決学習の充実） ◎学び合いによる深め合い（ペア・グループ学習） ◎個に応じた課題の習熟時間の確保（ベシックドリル・eライブラリー等の活用） ◎ICTの推進（ノートPC・実物投影機・タブレット・eライブラリー等） ◎体力向上（一学級一取組の実践・運動の日常化） ○児童の自己評価・相互評価 ○本時のめあての明示 ○発問・板書の工夫 ○ノート指導の徹底 ○教育支援員の意図的な有効活用	◎観点別評価（1時間1観点） ◎個に応じた学力診断調査による実態把握 ◎形成的評価による、指導と評価の一体化 ○評価規準に基づく評価 ○PDCAに基づく評価サイクルの確立 ○自己評価の更なる充実	◎進度に合わせた学習プリントの作成 ◎外部講師の招聘・活用 ◎保護者の授業参加 ○家庭学習習慣の形成（音読・漢字練習・計算練習） ○保護者との連携指導 ○教育相談室との連携	◎理解力の伸長 ◎ブロックでの授業案づくり・実践授業・検証 ○教材・教具づくり（含デジタル化） ○学習指導説明会の実施 ○外部研修成果の還元 教育課程編成上の工夫 ◎チャレンジタイムの工夫 ◎学校図書館・図書支援員の活用 ○サマースクール（3～6年国語・算数等）の実施 ○漢字・算数検定の実施 ○学力診断テストの実施